

季節の旅めぐり



うめがしま 秘湯・梅ヶ島温泉郷で楽しむ絶景とグルメ

1700年前から続くといわれる梅ヶ島温泉。金鉱山があったことから、古くから栄えてきました。「慶長小判」はここで産出された金が使われていたそうです。梅ヶ島温泉郷は、2017年に「国民保養温泉地」の指定を受けています。「濃い温泉」というのが梅ヶ島温泉のキャッチフレーズ。どんな「濃い」ものがあるのか、探ってみました。



4つの温泉地はつやつや美肌の湯

梅ヶ島温泉郷へは静岡駅からバスに乗って約1時間45分、車では新東名高速道路・新静岡ICから約50分で着きます。梅ヶ島温泉郷は、梅ヶ島温泉 (MAP①)、梅ヶ島新田温泉 (MAP②)、梅ヶ島金山温泉 (MAP③)、コンヤ温泉 (MAP④) の4つによる温泉地です。

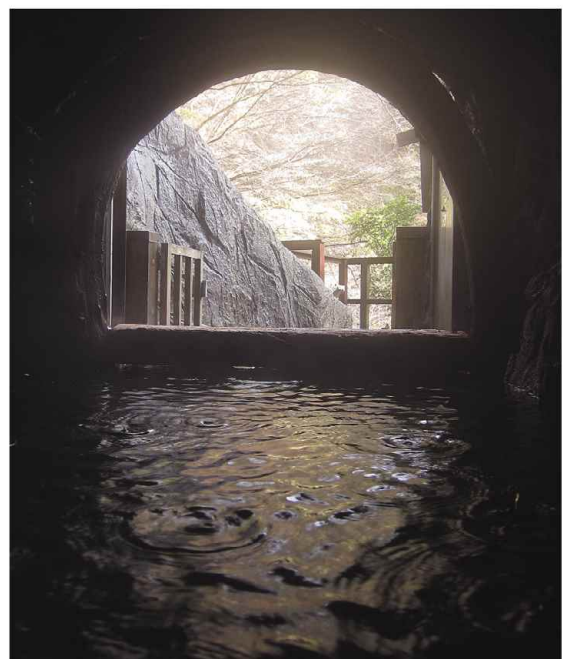
泉質は単純硫黄温泉とナトリウム炭酸水素塩温泉。どちらも共通するのはPHが高めなこと。PHが高いとアルカリ性が強い温泉となるため、美容効果が高く、肌がしっとりつやつやになると評判です。

温泉の歴史は古く、正保2年(1646年)初夏のころ、良純親王が霊泉を求めて安倍峠を歩いていると、3匹の赤い蛇が現れ梅ヶ島温泉へと導いたという伝承が残っています。良純親王は温泉によって難病を治したとされ、これが評判となって梅ヶ島温泉は万病に効く奇跡の温泉としてその名を広めたそうです。

「おゆのふるさと公園」(MAP⑤)にある源泉洞窟「岩風呂」は、神秘的な雰囲気。湧き出る硫黄泉は、そばの滝にも流れ込み、「温泉湯滝」と呼ばれています。あたりは硫黄泉の香りが立ち込め、湯量の多さを実感できます。



安倍川沿いに旅館が立ち並ぶ梅ヶ島温泉



源泉洞窟「岩風呂」には硫黄泉がたっぷり